

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 26 日作成)

小委員会名	溶接小委員会		主 査 名：中込 忠男 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 鉄骨工事運営委員会		委員長名：田中 享二 主 査 名：田淵 基嗣
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	2005 年度：現行の「建築工事標準仕様書 JASS 6 鉄骨工事」および「鉄骨工事技術指針」の改定作業を終了させる。 2006 年度：溶接施工・管理に関する最新の研究資料の調査・分析を行う。 2007 年度：溶接施工・管理に関する最新の研究資料の調査・分析を行う。 2008 年度：最新の知見に基づく合理的な溶接施工・管理方法に関する情報を学会員に向けて発信する。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 中込忠男(信州大学), 田中剛(神戸大学), 小林光博(駒井鉄工), 坂本真一(清水建設), 古賀郁夫(東京鉄骨橋梁), 田淵基嗣(神戸大学), 横田和伸(NTTファシリティーズ), 長尾直治(神戸大学), 松下真治(松尾橋梁), 南二三吉(大阪大学), 山下達雄(バコーポレーション), 笠原基弘(ジャスト), 米森信夫(ヨネモリ)		
設置 WG (WG 名:目的)	なし		
2006 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	17 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 建築工事標準仕様書 JASS 6 鉄骨工事 2. 鉄骨工事技術指針・工場製作編 3. 鉄骨工事技術指針・工事現場施工編
講習会	1. 「JASS 6」改定講習会 <span style="float: right;">参加者数 2000 名</span>
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. 材料施工部門「パネルディスカッション」 <span style="float: right;">参加者数 150 名</span> (資料名：固形エンドタブ工法を用いた梁端溶接接合部の欠陥評価を考える)
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「建築工事標準仕様書 JASS 6 鉄骨工事」および「鉄骨工事技術指針」の改定作業を行なった。 2. 2006 年度大会において、鉄骨非破壊検査小委員会とともに、パネルディスカッションを開催した。
委員会活動の問題点・課題	本年度は、改定作業に伴い小委員会の開催数を多くせざるを得なかったが、圧倒的に予算が不足しているため、各委員の旅費を個人負担とせざるを得なかった。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。